四日市市立図書館
地域資料室だより 第5号
2024年2月発行

★今回の内容は・・・
・特集 「地図が見たい！」(p.1～3)
・四日市と凄い人列伝 桃山鈴子さん(p.4)

特集 地図が見たい！

地域資料室で、よく聞かれる調べもの相談のひとつに「地図が見たい！」というものがあります。地図資料(絵図も含む)は、地域の今や変遷など様々な情報を知ることのできる重要な地域資料のひとつです。地図資料といっても種類はいろいろ。どんなものがあって、どんなことが分かるのか…

今回は、地域資料室にある地図資料や、地図が収録されている地域資料を一部紹介します。

※地図資料は、ほとんどの資料が持出禁止です。地域資料室内でご覧ください。

1、昔の地図が見たい

時代別に地図資料を紹介します ※()内数字は縮尺

【江戸】

1-1 **『四日市市史 第6巻 史料編 絵図』** 四日市市/発行〔L223〕

➡ 街道絵図のほか、村などの様子を描いた地方絵図・村絵図などを掲載

1-2 **『三重県史 別編 絵図・地図』** 三重県/発行〔L201〕

1-3 **「四日市の近世前・中・後期所領配置図」**

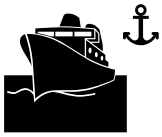
「伊勢北部の幕末期所領配置図」(『四日市市史 第17巻』付録)

➡ 江戸時代、どこがどの藩・支配者の領地だったのかを地図上で示したもの

【明治】

1-4 **「北伊勢地域図**(1/120,000)**」**明治１９年,三重県/発行

1-5 **「最新調査三重縣全図**(1/340,000)**」**明治４１・４４年,博愛館/発行



1-6 **「三重郡四日市縮図」**明治１１年(『四日市市史 第13巻』付録)

1-7 **「四日市市全図**(１/13,500)**」**明治４０年(『四日市市史 第11巻』付録)

1-8 **「四日市市全図**(１/9,000)**」**明治４４年 (『四日市市史 第18巻』付録)

1-9 **「三重朝明両郡全図**(１/75,000)**」**明治２９年頃

【大正】

1-10 **「三重郡地図**(1/50,000)**」**大正２～８？年

1-11 **「日本交通分縣地圖 其五 三重県**(1/250,000)**」**大正１３年,大阪毎日新聞/発行

1-12 **「四日市市全図」**大正１１年(『四日市市史 第18巻』付録)

【昭和】

1-13 **「三重県四日市市」**昭和５年(『四日市市史 第11巻』付録)

1-14 **「四日市市街全圖**(1/11,000)**」**昭和９年,四日市市役所/発行

1-15 **「四日市市街全図**(1/11,000)**」**昭和１５年(『四日市市史 第18巻』付録)

1-16 **「四日市都市計画図」**昭和２２年(『四日市市史 第14巻』付録)

1-17 **「最新四日市市全図**(１/32,000)**」**昭和２９年(『四日市市史 第14巻』付録)

1-18 **「四日市市精図** (1/15,000)**」**昭和３９年(『四日市市史 第15巻』付録)

1-19 **「四日市市地図**(1/15,000)**」**昭和４０年,萬華社/発行

1-20 **「四日市市・三重郡全図**(1/35,000)**」**昭和４２年,関口精一/発行

Pick up！ *地図と一緒に当時の写真も！*

『写された四日市』四日市市立博物館/編集・発行,2002〔L223〕

昭和7年の「四日市市街全図」と昭和6年の「富田町富洲原町地図」が付属されているこの資料。
地図上に書かれた番号の写真をみるとその場所の当時の様子が分かります。

中面へつづく➡

四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号 TEL059-352-5108 Fax059-352-9897
E-mail tosyokan@city.yokkaichi.mie.jp ホームページ https://www.yokkaichi-lib.jp/

2、地域の移り変わりが見たい

年代ごとに見比べることのできる地図を紹介します

2-1 **「地形図」**（いずれも、大日本帝国陸地測量部または、国土地理院/発行）

〈1/20,000〉　櫻村（明治26）、水沢村（明治27）、四日市（明治31）、塩浜村（明治26）

〈1/25,000〉　四日市東部（四日市）（大正11年以降）、 四日市西部（日永）（大正13年以降）
四日市市域が含まれている地形図（昭和48年以降）

〈1/50,000〉　四日市市（四日市町）（明治33年以降）
四日市市域が含まれている地形図（昭和49年以降）

※市立図書館所蔵の地形図の詳細は、市立図書館ホームページ＞資料を探す＞その他の地図　からもご覧いただけます。

2-2 **『日本図誌大系　近畿2』**（山口恵一郎［ほか］/編集，朝倉書店,2011）〔L290〕
➡明治23年、大正9年、昭和34年の四日市市の地形図が掲載されている。

★**「地形図」とは**･･･地形の起伏や、河川、道路、建物、土地の利用などの様子を表したものです。
いつ測量し、修正し、補記したのかが書かれているので、その情報にも注目し、
様々な年代の地形図を比較してみることで、その土地や地域の変化が分かります。

2-3 **「一万分の一　都市計画図」**昭和30･40年代、四日市市/発行

2-4 **「四日市1/3000　航空測量図　（1）（2）」**昭和30年･40年代、四日市市/発行

3、テーマに沿った地図が見たい

知りたいテーマ別の地図を紹介します

3-1 **【場所･行き方を知りたい】**※市外の都市地図や、県外の道路地図は2階一般閲覧コーナーの壁面にあります。

「四日市市（都市地図　三重県2）」、「県別マップル24　三重県道路地図」いずれも昭文社/発行

3-2 **【住宅地図が見たい】**※市外の住宅地図も所蔵しています。詳細は図書館HPからまたは、職員までおたずねください。

『四日市市 三滝川北』、『四日市市　三滝川南』（株）ゼンリン/発行

➡市立図書館には、過去の住宅地図も所蔵があり、現在の様子と比較してみることもできます。

3-3 **【山･自然を知りたい】**

「山と高原地図　45　御在所･霊仙･伊吹」、「山と高原地図　51　大台ヶ原」昭文社/発行

「四日市市地質図（1/50,000）**」**（『四日市市史　第1巻　史料編　自然　』付録）

「植生図･主要動植物地図　三重県」（昭和48年）国土地理協会/発行

「鈴鹿山脈植生図　1/5,000」　（年代不詳）南川幸/原画

3-4 **【今とこれからの四日市を知りたい】**

「四日市のあらまし」（令和3年）四日市市/発行
➡市内の地図とともに、市の沿革、変遷、概要、施設の一覧など市の情報も掲載されている。

「四日市市都市計画図（概要図）」（令和3年）四日市市／発行
➡道路･公園･緑地等の都市計画の概要が記されている。

「四日市市全図」（『のびゆく四日市』（令和5年，四日市市/発行）付録地図）
➡商業地･住宅地･工業地などが色分けされていて一目で四日市の様子が分かる。

地域資料室には、観光案内地図や各地区で作られた地図もあります！
※各地区の地図は、地域資料室西側壁面の地区別BOXにあります。

「ARUKU vol.1～3」（四日市市健康福祉部健康づくり課/発行）　➡四日市を歩こうMAPを収録。

「四日市コンビナート夜景マップ」、「四日市散策マップ」（いずれも　四日市観光協会/発行）
➡散策マップには、まちなか文化施設編、四日市西部編、東海道編、海岸めぐり編がある。

「四日市あすなろう鉄道乗って歩いて再発見マップ」（四日市市/発行）

4、こんな調べものにも、地図が役立つ！

よく聞かれる調べもの相談の中から、参考資料として地図資料をご案内するものを紹介します

昔、諏訪神社あたりに駅があったって聞いたけれど？

✓ **まずは、鉄道の歴史について資料を確認して、駅があった年代を調べてみましょう。**

✓ **年代が分かったら該当の地図を見てみましょう。**

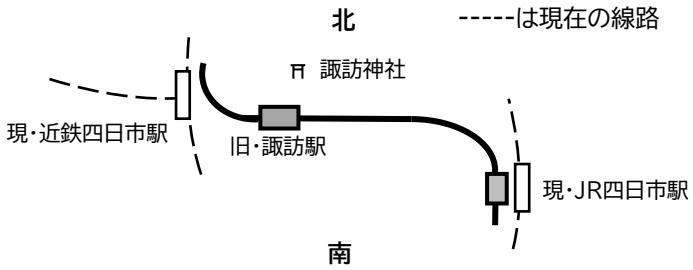
地図によっては、駅名まで書かれていないものもあります。大正期の様子なら**1-11・12**、昭和期の様子なら**1-13～17の地図**がよさそうです。

また、**地形図(2－1)**のうち、諏訪周辺が掲載されているものは、縮尺が小さく細かくはなってしまいますが年代を追って変化をみることができます。

四日市や鉄道の歴史に関する資料を見れば記述があり、答えは分かるこの疑問。
ただ、文章ではイメージがしにくいものです。こんな時に、目で見てパッと分かりやすいのが地図。
昭和初期の線路の様子として資料の記述によく出てくる「S字の急カーブ」も、地図だと一目瞭然です！

【旧路線のイメージ図】

※線路が今のJR四日市駅から西へ曲がり、
現在の商店街がある場所を抜け、
今の近鉄四日市駅があるあたりから
北へ曲がりS字を描いて走っていた・・・



四日市の港ってどう変わったの？

✓ **四日市の沿岸部が載っている地図を年代順に見ていきましょう。**

✓ **沿岸部が掲載されている「1/50000」地形図(2-1)を見比べてみましょう。**

ほかにも、港が分かるこんな地図や絵図、資料があります。

- **『四日市市史　第6巻　史料編　絵図』(1－1)** ➡湊絵図等を収録
- **「三重郡四日市縮図**(明治11年)**」(1－6)**
- **『四日市港のあゆみ』、『四日市港開港百年史』**(いずれも四日市港管理組合/発行)の付録
  ➡「**四日市築港計画平面図**(大正末年推定)」、「**四日市港実測平面図**(昭和14年推定)」ほか
- **『画で見る四日市港の歩み』**(四日市市立博物館/編集・発行) ➡絵図・地図を多数掲載

四日市の歴史(L223)、鉄道(L686)、四日市港(L683)に関する資料の場所については、職員までおたずねください。

Pick up！

市のホームページにも地図情報があります！　「四日市市公開型GIS」

(https://www2.wagmap.jp/yokkaichi/)

四日市市のホームページに公開されていて、行政情報を見ることのできる地図「四日市市公開型GIS」。
公共施設の場所や自動車文庫の停車場所も分かる**「各種公共施設・地点情報」**や、遺跡の場所と一緒にその時代や出土遺物・関連文献などの情報もある**「遺跡情報」**、避難所や防災施設が探せる**「防災情報」**などがあり、調べものにも活用できます。

四日市と凄い人列伝　イモムシ画家 桃山鈴子(ももやますずこ)さん

リポート　桃山鈴子さんの原画展とお話と読み聞かせ

市立図書館では、四日市在住のイモムシ画家・桃山鈴子さんの原画展を開催。 期間中には、桃山鈴子さんご本人をお招きし、お話と読み聞かせも行いました。今回の「四日市と凄い人列伝」では、その様子を報告します。

桃山鈴子さんの紹介

東京都出身。幼少期をニューヨーク郊外で過ごす。
昆虫学の授業で顕微鏡を使った観察スケッチを学んだことが絵画表現の原点。
2022年、細見美術館特別展「虫めづる日本の美―養老孟司×細見コレクション」に出展。2023年には、著書『へんしん～すがたをかえるイモムシ～』がスロバキアで開かれた「ブラチスラバ世界絵本原画展」の日本代表と、ミュンヘン国際児童図書館の国際推薦児童図書「ホワイト・レイブンズ2023」に選ばれた。また、『アックスvol.156』(青林工藝舎刊)では、漫画家デビューも果たした。

〈受賞歴〉HBギャラリーファイルコンペvol.29 藤枝リュウジ賞、Garlley House MAYA装画コンペvol.19 準グランプリ
NY ADC 101st Annual Awards Bronzecube受賞(『わたしはイモムシ』)
NY ADC 102st Annual Awards Merit受賞(『へんしん～すがたをかえるイモムシ～』)

原画展「桃山鈴子の世界～もしもしイモムシ」

於:2階展示コーナー、1階児童室

2023年9月27日～11月26日まで、市内在住のイモムシ画家・桃山鈴子さんの原画展「桃山鈴子の世界～もしもしイモムシ」を行いました。
『へんしん～すがたをかえるイモムシ～』の原画を中心に、桃山さんの代名詞でもあるイモムシのひらきなど全28点を展示。児童室には、直筆メッセージも登場しました。
桃山さんの作品はどれも点描画。来場者は、その繊細さに見入っていました。

また、桃山さんの「世界」を感じてもらえるように、制作の裏側を描いた桃山さん作のマンガや仕事道具も展示。「桃山文庫」として、愛読書も紹介しました。
『へんしん』に登場するイモムシは「四日市で見つけた個体がモデル」ということもあり、図書館では四日市で見つけたチョウ・イモムシ情報を募集。桃山さんが見つけた場所とあわせて地図を作りました。地図に登場するチョウの標本も登場し、盛りだくさんな展示となりました。

1000人を超える方に来場いただきました！

桃山鈴子さんのお話と読み聞かせ

於:2階視聴覚ホール　参加者:49人(午前午後あわせて)

原画展の期間中の11月23日に午前と午後の2回、桃山さんによる『へんしん』の読み聞かせを、イラストレーター・ヒロミチイトさんのギター伴奏付きで行いました。
読み聞かせの後、午前は子どもたちに向けて「イモムシとの出会い」や「子どもの頃好きだった本」などのお話を、午後は大人に向けて絵本『へんしん』ができるまで、なぜイモムシでなぜ「ひらき」なのか、制作の裏側などのお話をしていただきました。もちろん、午前午後ともイモムシやチョウの話も満載！
参加者からは、「イモムシの話がおもしろかった！」「紙をフンで染めるのにびっくり」「イモムシ愛に感動した」「制作の裏側を聞いてさらに作品への興味がわいた」などの感想が寄せられました。

図書館にある桃山さん関連本・資料

【著書】　『わたしはイモムシ』(工作舎, 2021)、『INSCECTS』、『INSCECTS2』
『へんしん～すがたをかえるイモムシ～』(福音館書店,2022)
「わたしとイモムシ」(『アックスvol.156』(青林工藝舎,2023)
【参加作品】『本の幽霊』西崎憲/著,ナナクロ社,2022
『招かれた天敵』千葉聡/著,みすず書房,2023〈いずれも装画〉
『才人と俳人』堀本裕樹/著, 集英社,2023 〈俳人・堀本裕樹さんとの交換句とエッセイ掲載〉
【紹介記事】「四日市こども広報　令和4年11月号」四日市市教育委員会/発行
「MOE　2023年10月号」白泉社、「NAGI　92号」月兎舎